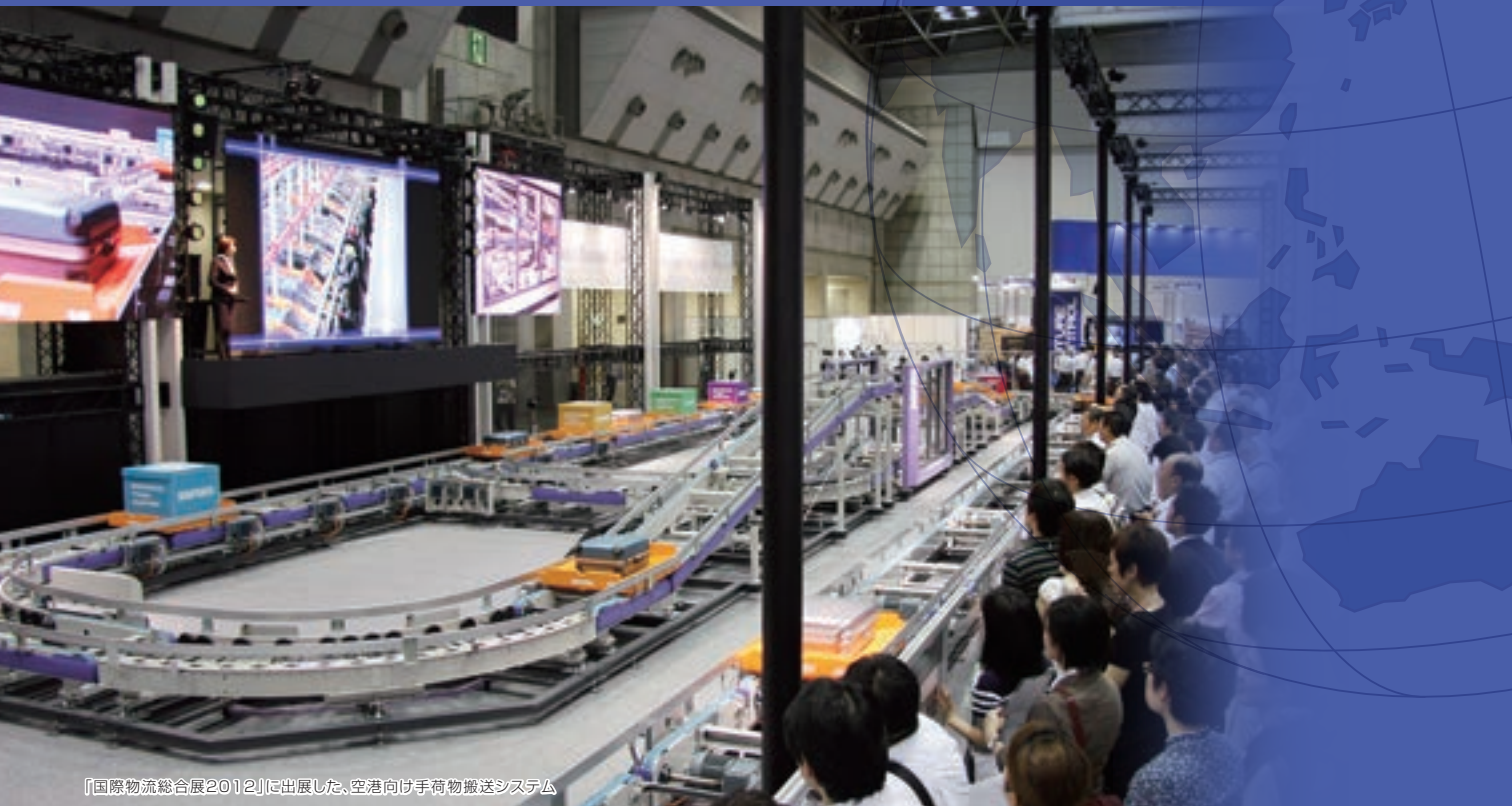


DAIFUKU

Material Handling and Beyond



「国際物流総合展2012」に出展した、空港向け手荷物搬送システム

株式会社ダイフク

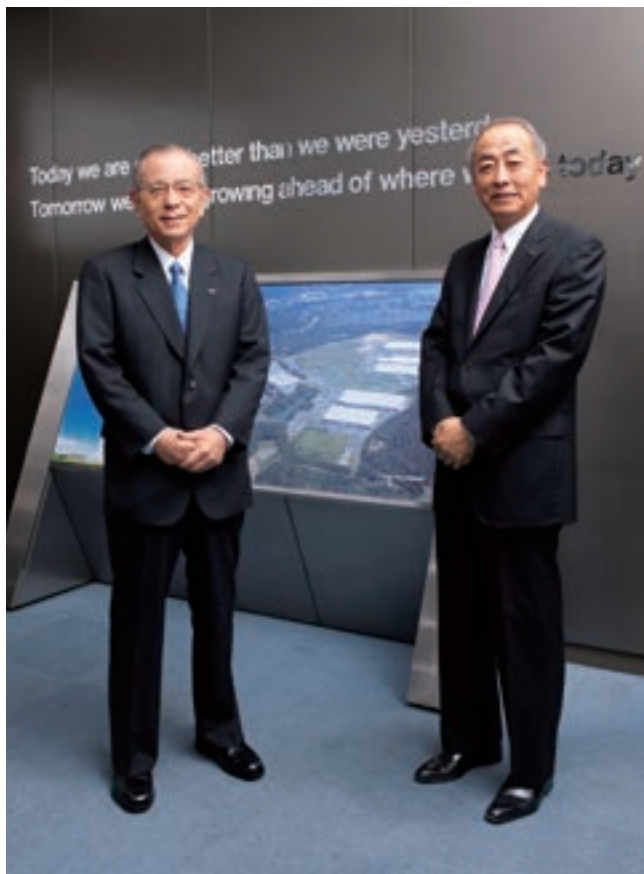
BUSINESS REPORT

第97期 第2四半期報告書

平成24年4月1日～平成24年9月30日

証券コード 6383

回復基調を維持、大幅増益を達成



代表取締役会長

竹内 克己

代表取締役社長

北條 正樹

当第2四半期連結累計期間における世界の経済は、欧州では債務危機による混乱が続き、新興国でも景気減速感が見られるとともに、わが国の経済も持ち直しの動きに陰りが見え、弱含みで推移しました。

当業界におきましては、東日本大震災の復興需要が増してきた一方、設備投資予算の抑制、国内外での競争激化などにより、利益面では厳しい事業環境が続いております。

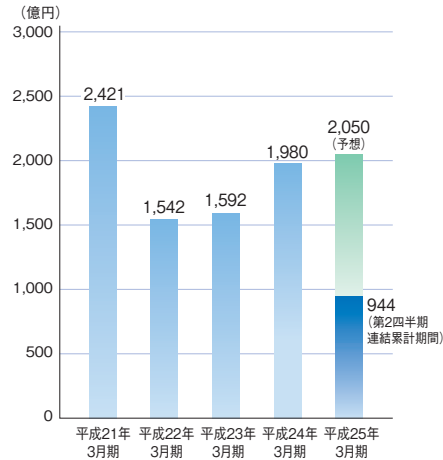
Q 第2四半期連結累計期間の業績は？

当社グループの業績は、回復基調を維持いたしました。受注面では、米国やメキシコ、東南アジアの自動車工場向け大型案件が寄与しました。売上面では工期の後ずれ等の影響を受けたものの、米国や台湾の半導体工場向け、タイなどの自動車工場向けが伸びました。

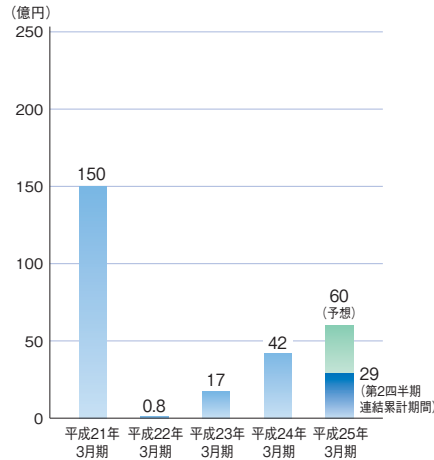
この結果、受注高は1,060億98百万円(前年同四半期比13.8%増)、売上高は944億18百万円(同0.9%減)を計上いたしました。利益につきましては、プロジェクト管理の徹底、コストダウンなどの利益改善策が奏功し、平成24年5月14日公表の予想数値(営業利益15億円、

財務ハイライト

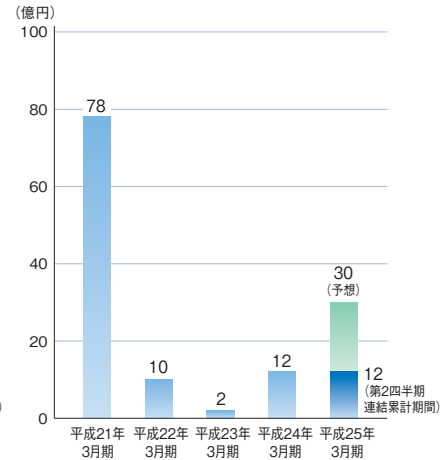
売上高



営業利益



当期(四半期)純利益



経常利益13億円、四半期純利益7億円)を上回りました。

この結果、営業利益は29億19百万円(同171.9%増)を、経常利益は24億41百万円(同254.6%増)、四半期純利益は12億70百万円(同13億86百万円増益)をそれぞれ計上いたしました。

また、当社グループは、友好的M&Aを積極的に進め、事業の枠組みをグローバルに拡大することもできました。(8ページをご参照下さい。)

表紙

バゲージトレイシステム

トランクなど、ひとつひとつの手荷物をトレイに搭載する高速搬送システム。分速600メートルは世界最速です。

9月に開催された「国際物流総合展2012」では、迫力あるデモで、来場者を魅了しました。



株式会社ダイフク

受注・売上ともに自動車向けが活発

受注面では、主力の一般製造業や流通業向け保管・搬送・仕分け・ピッキングシステムにおいて、農業、流通、食品、医薬品、医薬卸、リチウムイオン電池業界向けなどの大型案件が堅調に推移しました。また、東日本大震災直後の迅速な対応がユーザーに評価されて、復興本格化に伴う中小型システムの受注・引き合いが増加しています。タイやインドネシアなどの海外向けの案件も増えていきます。

半導体工場向けシステムでは、北米、韓国、台湾の案件が順調に進捗。液晶パネル工場向けシステムは中国が主な市場となっており、下期以降に順次受注していく予定です。

自動車生産ライン向けシステムは、メキシコやタイ、インドネシア、ブラジルなどの新興国向けの受注が活発でした。

売上面では一般製造業や流通業向け保管・搬送・仕分け・ピッキングシステムでは、医薬卸、流通、農業、食品、医薬業界向けなどの国内大型案件が堅調に推移しました。

半導体工場向けシステムは北米や台湾、韓国向け案件が順調に推移しました。

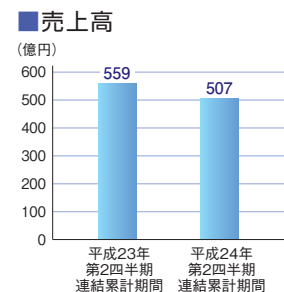


自動車工場で活用される自動倉庫

自動車生産ライン向けシステムは、国内で大型案件がスタートしたうえ、5月と8月の連休工事などサービス関連が順調であったことが寄与しました。

洗車機は、サービスステーション市場、ディーラー市場がともに好調だったことにより、販売台数が伸びました。福祉リヤリフトも、搭載車両のモデルチェンジ需要などが寄与しました。

利益面では、いずれの業界向けも営業利益が改善したことにより、セグメント利益が黒字に転換しました。



株式会社コンテック

太陽光発電計測関連の受注が増加

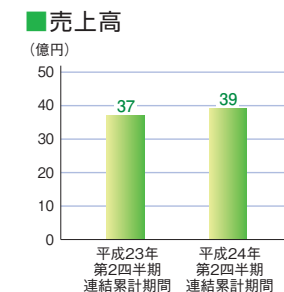
デバイス&ソリューション製品では、国内の生産設備への投資が減少したことを受け、拡張ボード系機器の販売が減少しました。一方で、政府の再生可能エネルギー普及促進策の効果もあり、太陽光発電計測関連製品の受注が増加しました。また、医療



太陽光発電計測システム

市場向けにベッドサイド情報端末の拡販に努めており、引き合いが増加しています。

システム製品では、主力の自動車生産設備関連の販売が回復に至っていないため、物流システムやセキュリティシステムなど新しい分野への拡販を目指しています。

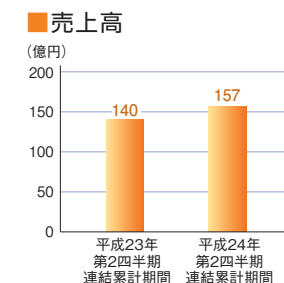


DAIFUKU WEBB HOLDING COMPANY (DWHC)

自動車と半導体向けが好調

受注面では、自動車生産ライン向けシステムでデトロイトスリー向け大型案件を獲得し、日系企業も改造需要が活発になっています。半導体工場向けシステムも投資計画の前倒しにより順調に進捗しました。アイスクリーム工場向けの自動倉庫システムも加わり、前年同期に比べ大幅な増加となりました。空港向け手荷物搬送システムも、カナダでサービスの大型案件、米国で新設案件を受注しました。

売上・利益面では自動車、半導体、空港など各業界向けともに堅調な実績となりました。6月には、ウェブ社、ダイフクアメリカの生産統合を見据えたオハイオ工場の建屋増設工事が完了し、今後の業績への寄与が期待されます。



総資産

1,975億71百万円

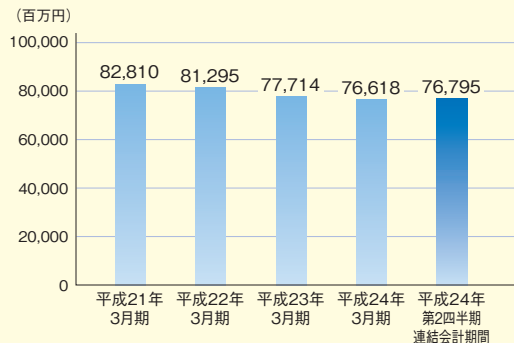
受注増加にともない棚卸資産などが増加しました。



純資産

767億95百万円

利益剰余金が増加しました。



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)	前連結会計年度 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産	137,775	129,942
固定資産	59,795	55,107
有形固定資産	30,311	30,430
無形固定資産	5,083	4,874
投資その他の資産	24,400	19,802
資産合計	197,571	185,049
負債の部		
流動負債	70,393	67,998
固定負債	50,382	40,432
負債合計	120,775	108,431
純資産の部		
株主資本	82,175	82,013
資本金	8,024	8,024
資本剰余金	9,028	9,028
利益剰余金	67,546	67,382
自己株式	△ 2,423	△ 2,421
その他の包括利益累計額	△ 7,339	△ 7,352
その他有価証券評価差額金	△ 206	247
繰延ヘッジ損益	11	11
為替換算調整勘定	△ 7,144	△ 7,611
少数株主持分	1,959	1,956
純資産合計	76,795	76,618
負債純資産合計	197,571	185,049

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	94,418	95,237
売上原価	77,132	80,452
売上総利益	17,285	14,785
販売費及び一般管理費	14,366	13,712
営業利益	2,919	1,073
営業外収益	413	452
営業外費用	891	837
経常利益	2,441	688
特別利益	5	0
特別損失	117	986
税金等調整前四半期純利益又は純損失(△)	2,329	△ 297
法人税、住民税及び事業税	893	756
法人税等調整額	166	△ 859
少数株主損益調整前四半期純利益又は純損失(△)	1,269	△ 195
少数株主損失(△)	△ 0	△ 78
四半期純利益又は純損失(△)	1,270	△ 116

連結キャッシュ・フロー計算書

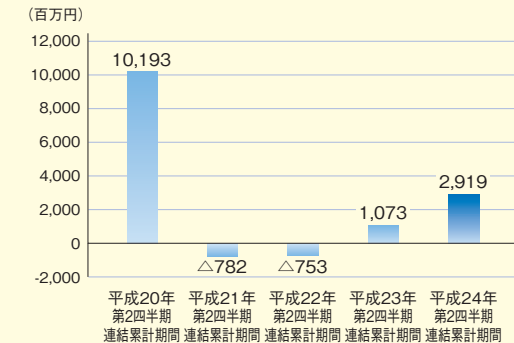
(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,543	△ 5,758
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,197	△ 1,765
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,452	△ 639
現金及び現金同等物に係る換算差額	47	187
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	10,845	△ 7,975
現金及び現金同等物の期首残高	29,438	31,672
現金及び現金同等物の四半期末残高	40,283	23,696

営業利益

29億19百万円

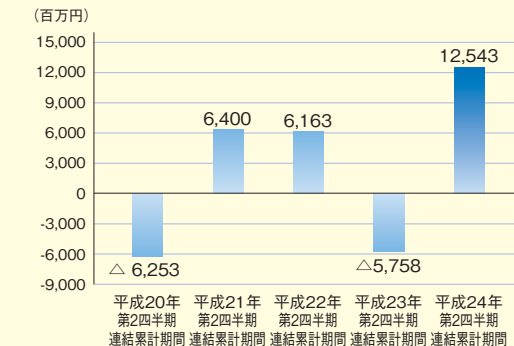
プロジェクト管理の徹底、コストダウンなどの利益改善策が奏功しました。



営業活動によるキャッシュ・フロー

125億43百万円

営業債権の回収などにより、キャッシュが増加しました。



アジアを中心に力強く成長

当社グループは、世界20の国と地域に49社のグループ会社を展開しています(平成24年9月末現在)。うち39社が海外で、今年度の海外売上高比率は54%を見込んでいます。



LOGAN TELEFLEX (UK) LTD.と合弁子会社の英中合同プロジェクトメンバー
中国 昆明長水国際空港殿へ空港手荷物搬送システムを納入



ニューデリーで開催された「India Warehousing Show 2012」に出展

海外の生産拠点はアメリカ、カナダ、タイ、韓国、台湾、中国、インド、イギリスにあります。世界最適地生産・最適地調達
の要として、現地のパートナー企業を育成しつつ、他国のグ

グローバルネットワーク (平成24年11月末)

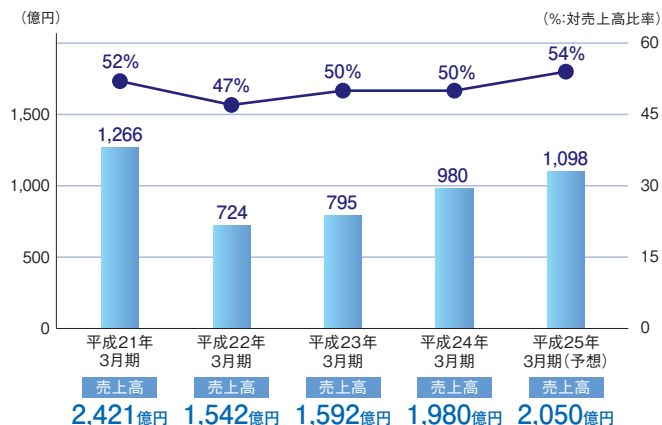


ループ会社とも連携しているのが当社グループの強みです。

世界の成長センターであるアジアでは、中国経済にやや減速感が見えるものの、東南アジアが活況を呈しています。特にタイの自動車産業は、アジア・太平洋地域全般の要として、また日本への輸出拠点としてもますます存在感を増しています。また自動車以外でも、タイの現地法人は食品業界などで大型自動倉庫を受注しており、過去最高の仕事量となる見通しです。

韓国では、半導体工場向けが好調でした。韓国国内自動車工場向けは、自動車メーカーの活発な設備投資により、受注・売上ともに好調で、過去最高の数字になりました。

海外売上高の推移



NEWS

海外3社がグループ入り

欧州戦略強化のため平成22年10月に資本参加をしたオーストリアのKNAPP AGの株式を追加取得。平成24年7月に全株式の30%を取得して、新たに持分法適用会社となりました。

また、韓国の最大手洗車機メーカーHALLIM MACHINERY CO., LTD. (韓林機械株式会社)の全株式を取得。韓国はもとより、ASEAN諸国などもらんだ洗車機販売の拡大を図ります。

加えて、米国で空港の手荷物搬送システムのオペレーションおよび保守サポートを提供するELITE LINE



HALLIM MACHINERY CO., LTD.の経営陣が東京本社を表敬訪問

SERVICES, LLCの全出資証券を11月に取得しました。これにより、手荷物搬送システム、旅客搭乗ブリッジ、荷物用ビークルのオペレーション等、総合的なサポートおよび保守を提供できることになり、空港手荷物搬送事業のさらなる拡大を図ります。

第5回 株主様向け日に新たな館見学会

10月12日、株主様向け「日に新たな館」見学会を開催しました。東は埼玉から西は広島まで、208名の方にご参加いただきました。

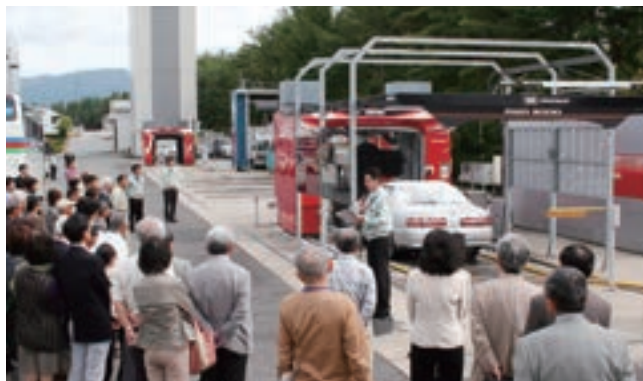
北條社長より事業概況などをご説明したあと、日に新たな館で当社の主要製品、新たに設置したボウリングレーンでプロ



プロボウラーによるデモ投球

ボウラーによるデモ投球をご覧くださいました。さらに洗車機展示場で、最新の泡洗車システムのデモンストレーションもご見学いただきました。

日頃なかなか見ることのできないマテハンシステムを直接ご覧いただき、当社への理解を一層深めていただきました。



最新の泡洗車システム「AWA3000」の見学

株主で優待のご案内

当社は、毎年3月末日現在で当社株式を1単元(500株)以上保有の株主様に対し、ボウリング場割引金券を年1回贈呈しております。お手元のご利用案内または、当社ホームページにご利用方法や使用可能センター一覧を掲載しています。ぜひご利用下さい。「株主で優待の方法」「ご利用可能センター一覧」等、詳しくは当社ホームページをご覧ください。

ホームページ[<http://www.daifuku.co.jp/ir/>]



東証IRフェスタ出展のご案内

平成25年2月、東京証券取引所主催の個人投資家向けIRイベント『東証IRフェスタ2013』に出展いたします。多数のご来場をお待ち申し上げております。

名称：『東証IRフェスタ2013』
ホームページ[<http://www.tse-irfesta.com/>]

開催日時：平成25年2月15日(金)10:00-19:00
平成25年2月16日(土)10:00-17:00

場所：有楽町・東京国際フォーラム B2F展示ホール
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

入場料：無料

※当社ブース番号等の詳細は、追って当社ホームページ(<http://www.daifuku.co.jp>)にてお知らせいたします。

会社概要

(平成24年9月30日現在)

商号 株式会社ダイフク
 創立 昭和12年5月20日
 資本金 8,024,016,918円
 代表者 代表取締役社長 北條 正樹
 従業員数 5,726名(グループ総数)
 主な事業所
 本社 〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島3-2-11
 TEL:(06)6472-1261(代)
 東京本社 〒105-0014 東京都港区芝2-14-5
 TEL:(03)3456-2231(代)
 事業所
 滋賀 〒529-1692 滋賀県蒲生郡日野町中在寺1225
 TEL:(0748)53-0321(代)
 小牧 〒485-8653 愛知県小牧市小牧原4-103
 TEL:(0568)74-1500(代)
 支店 北海道、東北、新潟、北関東、東京、藤沢、静岡、名古屋、
 東海、北陸、大阪、中国、九州
 海外 支店や事務所、現地法人を世界20の国と地域に展開。
 物流システム関係の生産拠点として中国・台湾・韓国・
 タイ・インド・米国・カナダ・イギリスにそれぞれ工場を
 有し、世界最適地生産体制を構築

関係会社紹介

株式会社ダイフクプラスモア

株式会社ダイフクプラスモア (<http://www.daifuku-plusmore.co.jp>) は、暮らしに身近な製品群で、快適で、楽しく、ゆとりある暮らしを応援します。次の3つのカンパニーで各マーケットのニーズにきめ細かく対応しています。

- CARWASHカンパニー
 (洗車機および洗車機関連用品等の販売)
<http://www.daifuku-carwash.jp>
- キュービカエーエムエフカンパニー
 (ボウリング設備・用品等の輸入・販売)
<http://www.dqa.co.jp>
- レンタルカンパニー
 (物流機器のレンタル業務)
<http://www.daifuku-rental.jp>

役員一覧

(平成24年9月30日現在)

代表取締役会長	竹内 克己
代表取締役社長	北條 正樹
代表取締役副社長	小林 史男
代表取締役専務	猪原 幹夫
取締役専務執行役員	田中 章夫
取締役専務執行役員	森屋 進元
取締役専務執行役員	武田 泰正
取締役常務執行役員	井上 正義
取締役常務執行役員	藤本 勝敏
取締役	藤木 昇
取締役	柏木 樹
常務執行役員	田原 直樹
常務執行役員	中島 祥行
常務執行役員	岩藤 英規
常務執行役員	佐藤 誠政
執行役員	當真 彰
執行役員	井狩 彰
執行役員	佐々木 健志
執行役員	信田 浩博
執行役員	下代 正
執行役員	木村 義行
執行役員	堀場 義久
執行役員	木村 義久
執行役員	Brian G. Stewart
監査役(常勤)	出原 節夫
監査役(常勤)	黒達 二郎
監査役	内田 康晴
監査役	北本 功
監査役	鳥井 弘之

(注)取締役 柏木 昇は、社外取締役であります。
 監査役 内田晴康、北本 功、鳥井弘之は、社外監査役であります。



レンタルカーゴテナー

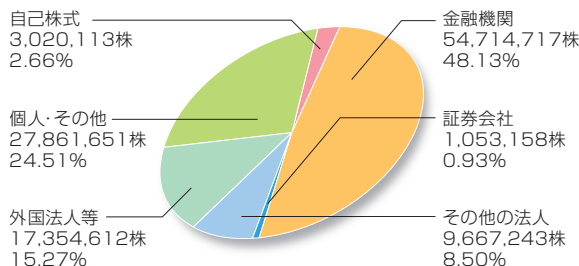
保管と運搬を1台で処理。流通業界から一般製造業界まで多様なニーズに対応。商戦の繁忙期や店舗開店、引越など、必要な時にお気軽にご利用いただけます。

株式情報

(平成24年9月30日現在)

発行可能株式総数	250,000,000株
発行済株式総数	113,671,494株
株主数	11,501名

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告の方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.daifuku.co.jp/ir/
上場証券取引所	大阪第1部、東京第1部
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ (0120) 176-417

第97期 中間配当金のお支払いについて

第97期中間配当金は、平成24年11月12日開催の取締役会にて、1株につき5円と決議しております。同封の「第97期中間配当金領収証」により、お支払いいたしますので、お近くのゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局(銀行代理業者)で払渡期間(平成24年12月7日から平成25年1月7日まで)にお受け取りください。

なお、振込先をご指定の方には「第97期中間配当金計算書」および「配当金のお振込先について」を同封いたしますので、ご確認くださいようお願い申し上げます。

上場株式配当等の支払いに関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律改正第23号)により、当社がお支払いする配当金について、配当金額や徴収税額等を記載した「支払通知書」を株主様宛にお送りすることとなっています。(同封の「配当金計算書」が「支払通知書」を兼ねることになります。)

なお、「支払通知書」(同封の「配当金計算書」)は、株主様が確定申告をする際の添付資料としてご使用いただくことができます。

(株式数比例配分方式を選択されている場合は、お取引の口座管理機関(証券会社)へお問い合わせください。)

<※平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更となります。>

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ (0120) 782-031

(インターネットホームページURL)
<http://www.smb.jp/personal/agency/index.html>

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、左記電話照会先までご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

DAIFUKU
Material Handling and Beyond

株式会社ダイフク

本社：〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島3-2-11 TEL: (06) 6472-1261 (代)
東京本社：〒105-0014 東京都港区芝2-14-5 TEL: (03) 3456-2231 (代)
<http://www.daifuku.co.jp>